



THIS IS MECENAT 2022

対 象 日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、
2022年4月1日から2023年3月31日の間に実施する、**メセナ**（芸術文化振興による社会創造）活動
※新型コロナウイルス感染拡大の影響がある場合も、今後継続する予定がある活動は対象となります。

ジャンル	形 態	活 動 例
・音楽 ・舞踊 ・映像メディア ・美術 ・伝統芸能 ・ファッション ・工芸 ・民俗芸能 ・ものづくり ・文学 ・複合芸術 ・演劇 ・文化遺跡 ・文学 ・建築 ・映画 ・歴史的建造物 など	公演や展覧会、アウトリーチやワークショップ等各種文化プログラムの実施／人的・物的支援、ノウハウや場所の提供、資金支援／人材育成や顕彰・コンクール事業の実施／文化施設等での企画・運営／出版物の発行 など	地域の文化を守り育てる活動／市民が芸術文化を楽しむ機会の提供／芸術文化団体への資金提供／芸術文化団体との協働 など ※営利を主たる目的とした活動、宗教活動や政治団体の普及を主たる目的とした活動、一般社団法人・公益社団法人・特定非営利活動法人の活動は対象となりません。

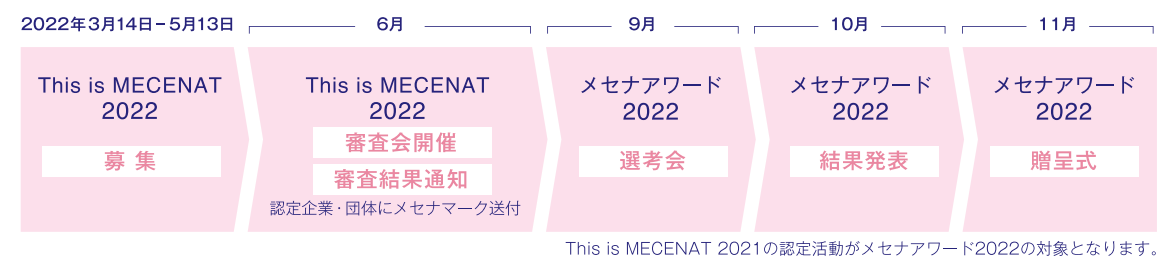
審 査 3つの視点（活動の位置づけ、活動の主体性、活動の視野）を中心に、
社会・地域への思いや創意工夫を凝らした点などを含めて総合的に審査

（審査委員） ●萩原なつ子 | 立教大学・教授／（認特）日本NPOセンター代表理事 ※審査委員長
●新井鷗子 | 横浜みなとみらいホール館長／東京藝術大学特任教授
●佐倉 統 | 東京大学大学院情報学環・教授
理化学研究所革新知能統合研究センター・チームリーダー
●中島信也 | 株式会社東北新社代表取締役社長／CM演出家
●仲町啓子 | 実践女子大学教授／秋田県立近代美術館特任館長
●山口 周 | 独立研究者、著作家、パブリックスピーカー
●尾崎元規 | 企業メセナ協議会理事長

五十音順・敬称略、肩書は2022年3月時点

手数料 認定活動1件につき 30,000円 （企業メセナ協議会会員は無料） ※応募には手数料はかかりません。

スケジュール



受 付 This is MECENAT 専用サイト内の応募フォームにて

3月14日(月)から5月13日(金)24:00まで

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://mecenat-mark.org/>

または

This is MECENAT

検索



お問い合わせ：

公益社団法人企業メセナ協議会 This is MECENAT 担当

Tel：03-5439-4520 E-mail：mecenat@mecenat.or.jp

公益社団法人企業メセナ協議会とは

企業による芸術文化支援（メセナ）活動の活性化を目的に 1990 年に設立された、日本で唯一のメセナ専門の中間支援機関です。企業メセナの社会的意義を発信し、文化振興の基盤を整備するために、調査研究、認定顕彰、助成、国際交流等の事業を多面的に行っています。

メセナとは、芸術文化を通じた
豊かな社会づくりのための活動です。
公益社団法人企業メセナ協議会は、
企業が行うメセナ活動を応援します。

THIS IS MECENAT 2022

「This is MECENAT」は、
多彩なメセナ活動を認定し、
各活動に光をあてることにより、
芸術文化による豊かな社会
づくりを促進していくことを
目的とした制度です。

メセナ活動認定制度、募集開始

3.14 - 5.13

【対 象】 全国各地の企業や企業財団が実施するメセナ活動

※新型コロナウイルス感染拡大の影響がある場合も、今後継続する予定がある活動は対象となります
※詳細は中面をご覧ください

【主 催】 公益社団法人 企業メセナ協議会

【後 援】 文化庁

「This is MECENAT 2022」では、企業が主体的に取り組むメセナ活動を募集します。

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ（芸術文化振興による豊かな社会創造）活動を有識者の審査により認定する制度で、2014年にスタートしました。時代とともに多様化している企業メセナを広く周知するため、「これぞメセナ」と認定された活動には、シンボルとして「メセナマーク」を発行し、This is MECENAT専用サイトに掲載するなど活動の広報発信に協力します。「メセナの今」を多角的に発信し、これまでのべ1100件以上の活動を登録してきました。さらに認定された翌年には、特に優れた活動を「メセナアワード」として表彰します。ぜひご応募・ご推薦ください。

「This is MECENAT」に認定されると…

01 メセナマークの活用

芸術文化振興による豊かな社会創造＝メセナ活動のシンボルマーク。認定活動に対して、認定年度に発行します。活動に関する広報媒体（ウェブサイト、チラシ、ポスター、プログラム）などで広くご活用いただけます。This is MECENAT 専用サイトではマークの活用例をご紹介します。また、ご希望の場合は認定書を発行します。社内外の周知・発信にぜひご利用ください。

<https://mecenat-mark.org/mark/examples.php>



02 広報発信への協力

認定活動はすべて This is MECENAT 専用サイト（<https://mecenat-mark.org/>）に活動内容を掲載するほか、プレスリリースの配信やSNS、外部ライターによる取材記事執筆などの広報協力をします。This is MECENATの認定結果やメセナアワード贈呈式などの記事は、全国紙、地方紙などに掲載されています。

■ 掲載地方紙

十勝毎日新聞、函館新聞、苫小牧民報、福島民友、岐阜新聞、東濃新報、下野新聞、中国新聞、四国新聞、沖縄タイムス、南日本新聞など

03 メセナアワード

毎年、前年度に認定された活動から特に優れた活動7件（メセナ大賞1件、優秀賞5件、特別賞：文化庁長官賞1件）を選考。受賞活動には、表彰状とトロフィーを贈呈します。[1991年創設]



認定企業の声

朝日放送グループホールディングス株式会社

ABC アナウンサーによるこども読み聞かせ会「おはなしの森」



◀ ウェブサイト・ニュースリリースにメセナマークを使用しています。

アナウンサーという放送メディアならではのリソースを活用して定期的に開催している事業で、未来を担う子どもたちに貢献するとともに、コロナ禍における文化施設の支援も目指しています。メセナマークは活動を継続する意欲につながるだけでなく、社外（第三者）の「目利き」によってしっかり見守っていただくための大切な“羅針盤”となっています。

コロナ禍における取り組み



日本毛織株式会社

工房からの風

風を止めない。風をつなげる。通常開催はあきらめ、規模が小さくなくても中止とせず、「機会」を創出し続けることが工芸作家の創作の灯台になると考えました。出展作家の居住地、人数を限定しての会を「工房からのそよ風」と名付け、恒例の全体ミーティングを Zoom に置き換えてささやかでも交流を継続し、YouTube での動画配信など広報活動に努めました。

◀ 「工房からのそよ風」での来場者と作家の交流風景と、YouTube 配信動画。▶



「This is MECENAT 2021」認定活動例



伊藤忠エネクス株式会社

ことばの力を楽しむ会
(全国／その他)

東日本大震災の被災者への心の支援を目的に、2014年に開始。東京をはじめ全国で開催し、聞いている人の心に触れ、問いかけるような朗読とヴァイオリン・ピアノ・口笛や民族楽器など様々な音楽を通じて、あらゆる世代の感性を育てながら大切なことを語り継いでいる。コロナ下では過去の公演の朗読動画を期間限定で公開。



凸版印刷株式会社

可能性アートプロジェクト
(東京都／その他)

一般社団法人障がい者アート協会、NPO法人サポートセンターどりーむと連携して2018年にスタート。障がいをもつアーティストが描くアートを企業製品や販促物のデザインに採用し、「アート使用料（著作権利用料）」を還元することで、障がい者の自立支援と企業の事業活動の両立の実現を目指し、本取組みにかかわる社員の育成を推進する。



公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

ニッセイ・バックステージ賞
(東京都)

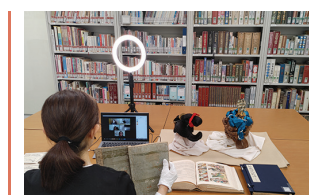
舞台芸術を裏から支え、優れた業績を挙げた舞台技術者（裏方さん）に光をあてた賞。毎年、全国の舞台芸術関係者の推薦から受賞者を決定し、日生劇場で行う贈賞式で賞金100万円と終身年金（年額50万円）を贈っている。大道具・小道具、照明、音響、衣裳、調律師など様々な分野で永年の功績を讃えるとともに、後継者の人材育成を目指す。



株式会社チャーム・ ケア・コーポレーション

アートギャラリーホーム
(東京都)

アートによる「豊かで実りある高齢社会」実現のため、首都圏の有料老人ホーム「アートギャラリーホーム事業」を展開。若手アーティストの支援を目的とし、募集・選考で入選した作品を買い取り施設に設置している。所蔵作品を通して入居者・家族とアーティストとの交流を育み、継続した支援を続けている。



株式会社ポーラ・ オルビスホールディングス

ポーラ文化研究所による「化粧文化」をテーマとした活動と社会貢献
(東京都／その他)

化粧を美しさの文化としてとらえ、学術的に探究することを目的に1976年に設立。化粧文化に関する「資料の収集保存」「調査研究」「発信普及」を行う。専門図書館「ポーラ化粧文化情報センター」では、17世紀以降の化粧・髪型・装身文化に関する貴重書をはじめ、化粧や関連分野の図書約16,000冊を所蔵。オンラインレファレンスを定期的に開催している。

2021年認定件数 166件



日本カバヤ・オハヨー ホールディングス株式会社

岡山子ども未来ミュージカル
(岡山県)

地元岡山の子どもの人材育成と地域貢献を目的に2018年に開始。現代の岡山県が舞台のオリジナル演目「ハロルド!」を、小学2年生～高校3年生の子どもたちが創り上げる。岡山市・倉敷市・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・倉敷市教育委員会・岡山放送やおかやまコープなど、多くの地元企業から後援・協力を受けている。



一般財団法人 おおさか創造千島財団

MASK -見せる収蔵庫-の運営
(大阪府)

大阪・北加賀屋に所在する鋼材加工工場跡を活用し、アーティストの創作活動や展示が可能な「Open Storage（見せる収蔵庫）」として運営。主に保管や再展示が難しいとされる大型作品の保管場所を無償で提供し、複数回鑑賞できる機会をつくることで、アーティストの創造活動をサポートするとともに地域の創造環境向上に寄与している。



東濃信用金庫

とうしん美濃陶芸美術館
(岐阜県)

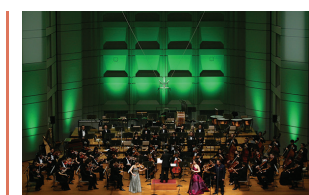
地域社会文化貢献活動の一環として、1986年度から美濃陶芸作品永年保存事業を始め、永年保存にふさわしい優秀作品を毎年買い上げている。2015年にはコレクションを展示する美術館として「とうしん美濃陶芸美術館」を開館。地域と連携した企画展を年4回開催し、人間国宝から若手作家まで幅広く美濃陶芸を発信している。



近畿労働金庫

エイブル・アート
SDGs プロジェクト
(大阪府)

（一財）たんぽぽの家と20年間協働してきた「エイブル・アート ひと・アート・まち」を発展させ、障がい者アートの取組みと地域でSDGsの課題に向き合う団体との新たなネットワークづくりを行うプロジェクトを開始。関西で子どもに関する活動を進める団体とともに、オンラインでのワークショップ、セミナー、マルシェなどを開催している。



住友不動産株式会社

家族そろって楽しめるクラシック
コンサート「ステップコンサート」
(東京都／大阪府)

“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、国内外で活躍する指揮者や演奏家、オーケストラを迎えて開催するクラシックコンサート。1987年より35年にわたり全110回開催、累計で約25万人のお客様を無料招待している。クラシックの名曲をはじめ幅広い音楽を提供し、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を図っている。

これまでの認定件数 1,163件